

原発ゼロ長野県連絡会 NEWS



事務局 〒381-0034 長野市高田276-8 長野県労連内 TEL (026) 223-1683 Fax (026) 227-1783
ホームページ <http://kenrouren.assrv.com/genpatsu/> mail: krn@mx2.avis.ne.jp

総会・学習交流会の日程決まる 2017年1月29日(日)13:30~ 長野市・高校会館大会議室

世話人会が開かれました

11月16日(水)11時から高校会館にて世話人会を開催しました。今年の総会・交流集会の日程、内容について協議し、会場の都合で2017年1月29日(日)、高校会館大会議室となりました(当初は1月21日予定でしたが、トイレの40人規模の会場しか無いため)。

講師についても数人の推薦があり、検討してこれから依頼することとなりました。決まり次第チラシを作成してお知らせします。

今後の運動の提起や各地の取り組みの交流もすることになります。

飯山高校生の放射能測定調査活動や鬼無里での取り組みについても報告がありました。また自然エネルギーへの転換の取り組みも知りたい、自然エネルギー信州ネットからの報告も依頼しては・・・との意見も出ました。

各地域・組織での取り組み報告の準備を是非お願いします。

原発をなくす全国連絡会の「ふくしまの復興と原発ゼロをめざす大運動」のとりくみについて報告され、長野県連絡会としても新署名と新聞意見広告に協力していくことも確認されました。

今回の世話人会は12月21日(水)高校会館4F第2会議室、11時からです。

是非、毎週金曜日・脱原発行動に参加を!!

「原発に頼らない未来を創ろうプロジェクト」(代表:田澤洋子)では、2012年7月27日から毎週金曜日夕方、脱原発行動をしています。最近参加者も固定化され、少々くたびれモードだそうです。

カンフル剤が欲しい!!参加者が多くなることが一番の元気の元・・・

みなさん、是非声かけをして、参加しましょう

長野駅前・東急横のNCビル前に午後7時集合です



脱原発金曜日行動

美浜3号機20年延長

「40年ルール」形骸化規制委認可
11月16日、原子力規制委員会が関西電力美浜原発3号機の最長20年の運転延長を認可しました。



・・・許さない

とめよう! 原発再稼働 かせよう! 福島切り捨て政治

no nukes

意見広告へあなたの賛同をよびかけます

東京電力福島第一原発事故の被害は拡大しつづけています。東京電力と政府は福島県民の健康被害を無視しています。生活再建の努力もすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

1. 東京電力福島第一原発事故の被害は拡大しつづけています。東京電力と政府は福島県民の健康被害を無視しています。生活再建の努力もすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

2. 福島県民の健康被害は拡大しつづけています。東京電力と政府は福島県民の健康被害を無視しています。生活再建の努力もすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

3. 福島県民の生活再建はすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

4. 福島県民の健康被害は拡大しつづけています。東京電力と政府は福島県民の健康被害を無視しています。生活再建の努力もすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

5. 福島県民の生活再建はすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

6. 福島県民の健康被害は拡大しつづけています。東京電力と政府は福島県民の健康被害を無視しています。生活再建の努力もすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

7. 福島県民の生活再建はすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

8. 福島県民の健康被害は拡大しつづけています。東京電力と政府は福島県民の健康被害を無視しています。生活再建の努力もすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

9. 福島県民の生活再建はすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

10. 福島県民の健康被害は拡大しつづけています。東京電力と政府は福島県民の健康被害を無視しています。生活再建の努力もすすまれているが、原発再稼働には反対です。しかし、原発再稼働は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままの再稼働は、住民の健康被害や地域経済の打撃が心配です。

新聞意見広告
団体5,000円/口・個人1,000円/口
全国で2000万円が目標
12月末、最終1月末締め切り

国と東京電力は責任を果たせ

東京電力福島第一原発事故は人災

責任を果たせ

no nukes

原発再稼働を止め、福島切り捨て政治を転換するために、国と東京電力が責任を果たすことを求める100万人署名にご協力をお願いします。

新署名です
全国連絡会では50万筆をめざします。2月末と5月末を締め切り

「原発をなくす全国連絡会」ホームページからダウンロードできます。

原発をめぐる情勢について (全国連絡会より) 事故から5年半経過した福島の現状

①福島第一原発の現状

1) 人間が近づけない高線量の現場
東京電力は、昨年4月、福島第1原発1号機原子炉格納容器内で実施した、ロボット(東芝製)による調査結果を公表しました。その内容は、最大の放射線量は毎時9.7シーベルトで、人間が全身に1時間あびれば、確実に死亡する7.0シーベルトを上回る極めて高い数値です。地元紙は「廃炉作業を進める難しさが浮き彫りとなった」と報道しました(英国は廃炉に90年)。また、昨年3月、東京電力と名古屋大学が「ミュオン粒子」で原子炉内を透視。1号機・2号機の核燃料はメルトスルーしていることが確認されています。しかし、肝心のデブリ(溶けた核燃料などが固まった物)の状況については確認できていません。

2) 解決のメドが立たない汚染水問題

汚染水問題は、解決のメドが立たず、汚染水は毎日約500トンずつ増加しています。350億円もの国費を投じた、汚染水対策の切り札となる「凍土遮水壁」は、3段階に分けて全面凍結させる計画のうち、7月までに建屋海側全体と山側95%の凍結が完了する予定だった第一段階は、いまだ一部に未凍結の部分があり、原子力規制委員会の外部有識者からは「破綻している」と厳しい指摘がなされています。田中委員長もまた「凍土壁にあまり関心はない。少しばかり水が入るのを減らしたからといって、汚染水問題は解決しない」との見解です。

(次号で福島県民の現状部分を掲載します)